

# 特集1

## 2020年12月5日 関東支部会報告

### コロナ禍における天文教育普及 ～With コロナでの天文教育普及～

飯塚礼子（明星大学，日食情報センター）

#### 1. はじめに

2020年度1回目の関東支部会をインターネット会議システムのZOOMにて、2020年12月5日（土）に開催した。コロナ禍において、4月の緊急事態宣言後、夏はCOVID-19の感染が一時抑えられたかのようなようであった。しかし、冬にはウイルス感染が多くなるであろうとの予想から12月に開催予定の関東支部会企画の段階でも対面での開催は難しいと判断したからである。実際に年末にかけてCOVID-19感染は増加していった。

今回のテーマは世相を反映する話題にしてはどうかということで、今までとは違った天文教育・普及について考えようと「コロナ禍における天文教育普及～With コロナでの天文教育普及～」とした。さらに2020年後半には、習志野隕石（千葉県習志野市、船橋市）の話題や「はやぶさ2」の帰還があり特別講演で取り上げることとした。

参加申込者は100名を超えていたが、土曜日開催だったためか、学校関係者がネットでの授業と重なってしまったなど、実際には88名の参加となった。しかし、インターネットの利点としてどこでも自由な時間に参加可能であるため、仕事の合間に参加くださった方もいたようである。さらに、アメリカとオーストラリアからの参加もありネット開催での利点があった。

#### 2. プログラム

今回は発表時間を今までの対面での支部会より多く存分に語っていただこうと考え、テーマ発表（3件）、一般発表（3件）とも一人

20分とした。特別講演（2件）は60分お願いした。特別講演は、もっと話をお伺いしたく時間が足りなかったようにも感じた。

以下がプログラムである。

#### ◆テーマ発表

(1) ZOOMによる野外天体観察のライブ配信をやってみた

鷹 宏道

(2) 天体観測ライブ配信

石川勝也

(3) 外出できない方へのオンラインプラネタリウム ～星つむぎの村のフライングプラネタリウムを事例に～

谷口加奈子

#### ◆特別公演

(4) 習志野隕石・ふたご座流星群・はやぶさ2

佐藤幹哉

(5) 岡部隕石

前田知絵

#### ◆一般発表

(6) NATURE1894年8月2日号の火星の記事

三品利郎

(7) Mitaka オンラインワークショップのご報告

波田野聡美

(8) コロナ禍の日食観測

飯塚礼子

それぞれの内容については、発表者が寄稿されているので、そちらをご覧ください。

#### 3. 参加者の動向

どのような方々が今回の支部会に参加され

ているのかアンケートを行ったところ、56件の回答を得た。その中当会の会員が45%でアンケートに回答された方は非会員の方が多かった。参加申し込みの段階では、46%が非会員であった。その方々は、日本天文学会 ML や SNS (Twitter, Facebook など)、知人の紹介から今回の開催を知ったと得た。多くの方に参加頂きインターネットを使用しての開催にあらためてメリットを感じた。

#### 4. おわりに

今回は無料開催としたので、多くの非会員の参加は嬉しい限りで、当会のアピールとして周知できたことは嬉しい。しかし、インターネットでの支部会の弱点も述べておく。

- ・発表者・座長以外は顔出しを禁止としたために参加者の反応が判らなかった。
- ・参加申込者か否かの判断をするために、ZOOM での表示名確認にスタッフの時間

がとられた。

- ・ZOOM 機能のチャットで質問を募ったが、即回答する時間がなかったり、他者が発表中に前者への質問がチャットに掲載され、チャットと発表と両方を見るのが難しかったりした。

このように課題も多い事がわかった。次回に活かしたいと考える。



飯塚 礼子

\* \* \* \* \*